



MITSUBISHI  
ELECTRIC

*Changes for the Better*

Quality  
in Motion

三菱エスカレーター

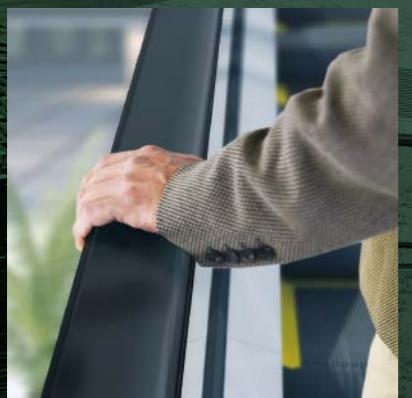
S  
series



家庭から宇宙まで、エコチェンジ。

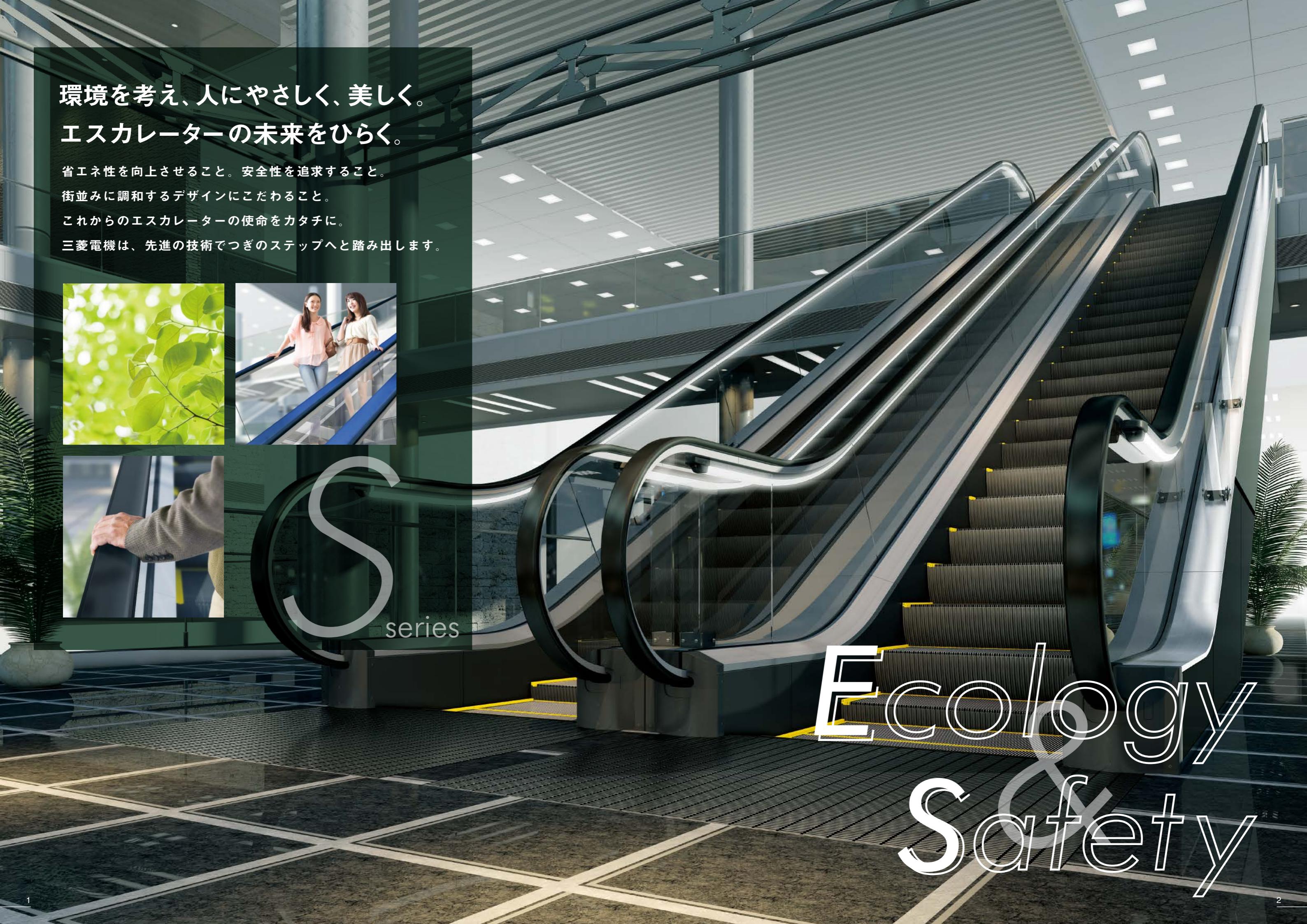
環境を考え、人にやさしく、美しく。  
エスカレーターの未来をひらく。

省エネ性を向上させること。安全性を追求すること。  
街並みに調和するデザインにこだわること。  
これからのエスカレーターの使命をカタチに。  
三菱電機は、先進の技術でつぎのステップへと踏み出します。



S  
series

Ecology  
Safety



# It's new for Next.

省エネと安全性を進化させて。エスカレーターSシリーズの新機能。

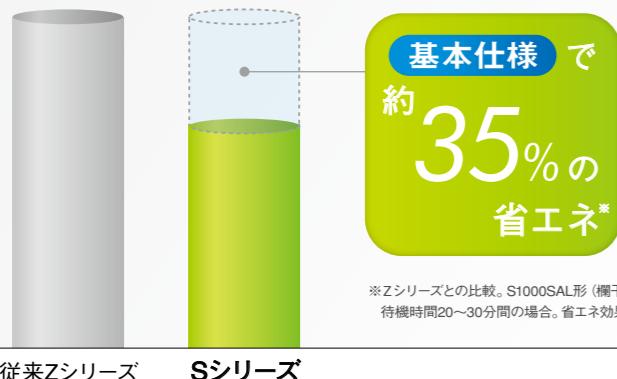
# Safety

利用者に配慮したスローストップ機能の採用や  
注意喚起のためのアナウンス機能の充実でさらに安全性を追求しました。

省エネ運転モード、照明のLED化など、  
先進のテクノロジーで大幅な省エネを実現。

インバーター標準装備 基本仕様 NEW 省エネ運転モード 基本仕様 NEW  
回生コンバーター 基本仕様 照明のLED化 基本仕様 NEW

消費電力比較\*



→ P.5 P.6

靴や衣類の巻き込まれを低減する  
スカートガードプラス 有償付加仕様



→ P.8

緊急停止による  
つまずきや転倒を  
低減する  
スローストップ機能  
基本仕様

→ P.8



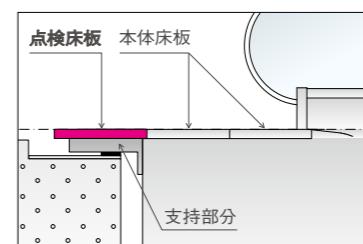
\*緊急時や停電時には緊急停止する場合があります。

# Ecology

エスカレーター制御にインバーターを標準装備。  
省エネ運転モードや照明のLED化で  
さらに省エネ性能を高めました。

エスカレーター支持  
部分の確認がしやすい  
点検床板 基本仕様

→ P.10



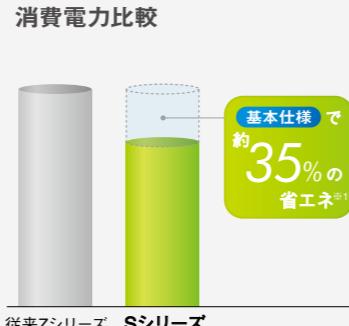
# Ecology

## 人と地球を想う環境性能。

インバーターの標準装備、省エネ運転、照明のLED化など  
環境に配慮した先進機能を搭載しています。

省エネ運転モード、照明のLED化など、  
先進のテクノロジーで大幅な省エネを実現。

基本仕様  
インバーター標準装備 NEW 省エネ運転モード NEW  
回生コンバーター 照明のLED化 NEW



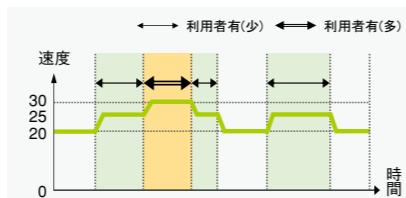
※1 Zシリーズとの比較。S1000SAL形(欄干照明あり)、階高5m、利用者数100人/時、待機時間20~30分間の場合。省エネ効果はご利用状況、建物の仕様により異なります。

インバーターを標準装備 基本仕様 NEW

軽負荷時のモーター効率を上げる最適励磁制御を採用したインバーターを標準装備し、省エネ性を向上します。

省エネ運転モード 基本仕様 NEW

センサーで利用者の混雑度を検出し、利用者数に応じた速度コントロールを行います。多い時は30m/min、少ない時は25m/minで運転し、利用者がいない場合は20m/minまで速度を落とします。快適性を損なわずに省エネ効果を発揮します。



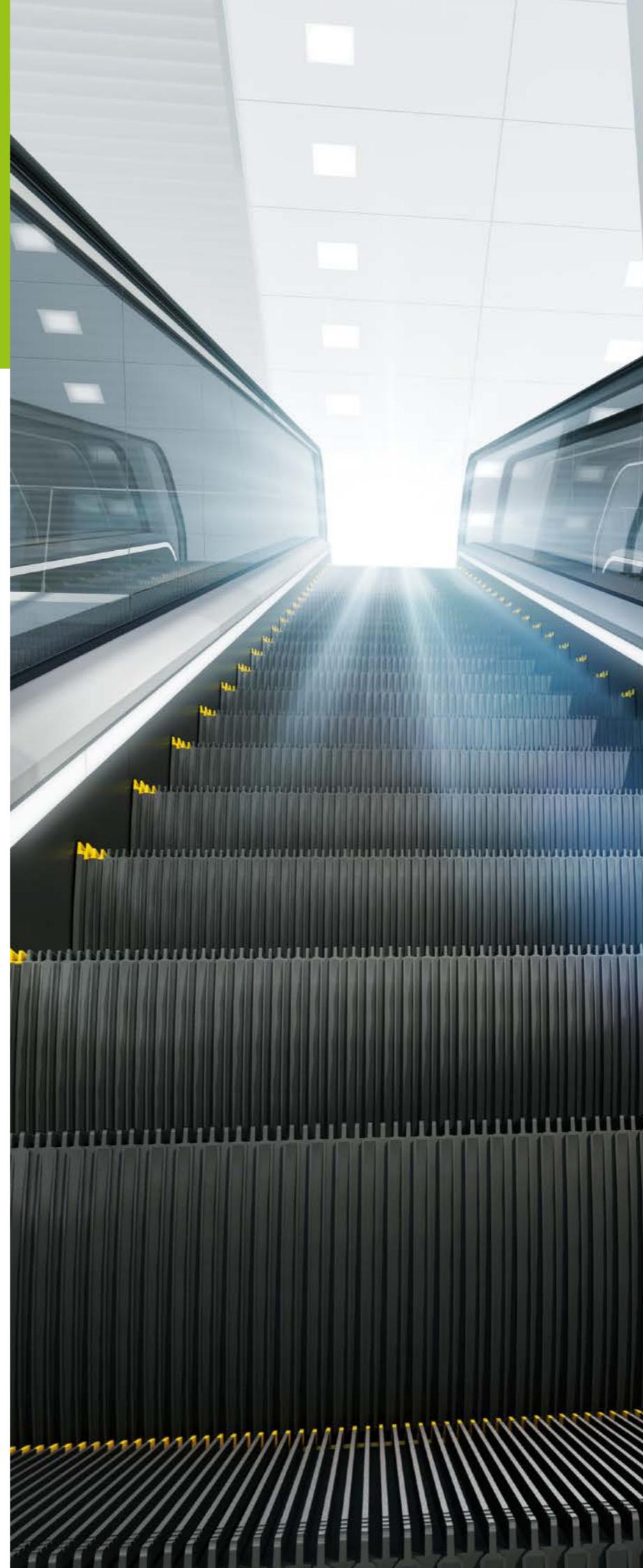
回生コンバーター 基本仕様

下り運転時、一定以上の利用者がいる場合には回生電力が発生します。回生コンバーターの採用により、この回生電力を抵抗による熱で消費せずに、建物内の電気設備に有効利用することで省エネを実現します。



照明のLED化

スカートガード照明<sup>※2</sup>、ステップ下照明<sup>※2</sup>、欄干照明<sup>※2</sup>、コムライト<sup>※2</sup>にLEDを採用。照明電源の消費電力を約60%削減<sup>※3</sup>します。長寿命で省エネ性に優れた仕様です。



## 自動運転 有償付加仕様

エスカレーターの利用状況を利用者検出センサー<sup>※4</sup>で検出し、利用者がいない時は停止や低速運転を行うことで、消費電力を削減します。利用者検出センサーとして、ポストタイプ、ポストレスタイプをご用意。ご利用シーンに合わせ、お選びいただけます。

### ●利用者検出センサー

〈ポストレスタイプ〉



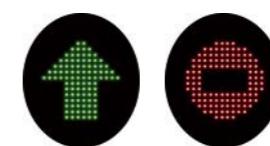
※利用者センサーは乗降口の両側に設置されます。  
※運転方向表示は有償付加仕様。

〈ポストタイプ〉



※誘導柵は別途工事となります。

運転方向表示



※誘導柵は別途工事となります。

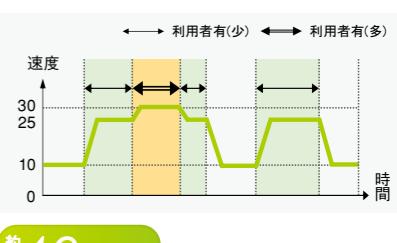


## 運転方式

### ●低速待機自動運転

利用者がいない場合は10m/minで運転し、消費電力を削減します。利用者を感知すると、通常速度へ緩やかに加速します。無人時でも運転しているため、利用者に運転方向を伝えることができます。基本仕様による省エネ効果とあわせ、約40%<sup>※1</sup>の省エネを実現します。

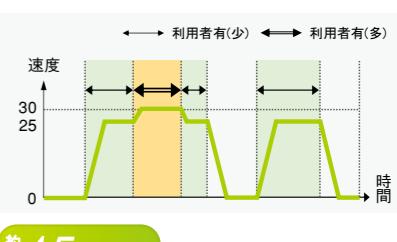
※利用者検出センサーはボスト式、ボストレス式からお選びいただけます。



### ●停止待機自動運転

利用者がいない場合にエスカレーターを停止します。利用者を感知すると、通常速度へ緩やかに加速します。無人時のエネルギー消費をさらに削減し、基本仕様による省エネ効果とあわせ、約45%<sup>※1</sup>の省エネを実現します。

※運転方向表示が必要となります。  
※利用者検出センサーはボスト式を推奨します。



※1 Zシリーズとの比較。S1000形、階高5m、利用者数100人/時、待機時間20~30分間の場合。省エネ効果はご利用状況、建物の仕様により異なります。  
※2 有償付加仕様。スカートガード照明、欄干照明は屋内・屋外の場合のみ適用可能です。

※3 Zシリーズ(蛍光灯)との比較(当社調べ)。

※4 センサーに太陽光が直接または反射して当たる環境や周囲に反射率の高い壁や柱などがある環境では誤検出する場合があります。当社にご相談ください。

※写真の色は実際と異なる場合があります。

# Safety

## みんなにやさしい 安心機能。

お子様からお年寄りまで、  
安心して利用していただくために。  
スムーズな乗降をサポートする  
さまざまな機能を装備しています。



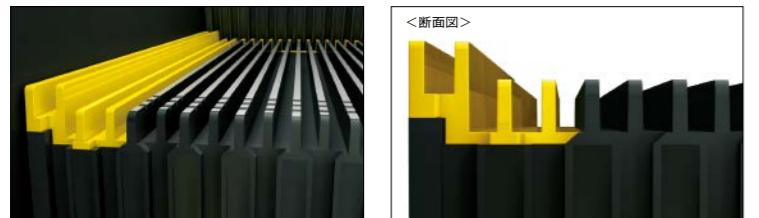
### ステップ部の視認性向上させる デマケーションカラー 基本仕様

ステップ部のデマケーションカラーの明度をアップさせることで、乗降口やステップの視認性を向上。利用者をわかりやすく誘導します。



### 巻き込みや挟み込みを低減する デマケーションクリート 基本仕様

両端のデマケーションクリートを持ち上げ、ステップの端部に立ちにくくすることで、ステップとスカートガード間への衣類の巻き込みや挟み込みを低減します。



### 踏み外しを低減する滑り止め溝 基本仕様

ステップの先端部に滑り止めの溝を入れ、乗降時の踏み外しを低減します。



### コムライト・円形灯 有償付加仕様



乗降部に照明を取り付け、乗降しやすくします。

※円形灯はパネルタイプのみに適用可能です。



### スローストップ機能 基本仕様 NEW

安全装置が作動して緊急停止する場合も、利用者の安全を配慮して緩やかに停止。緊急停止によるつまずきや転倒を低減します。

※停電時等には急停止する場合があります。



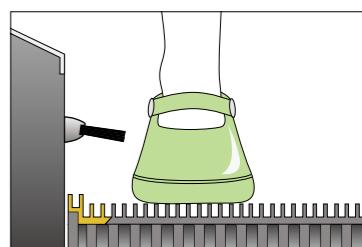
### 飛散防止フィルム貼付 (ガラスタイルのみ) 基本仕様

欄干の強化ガラスに飛散防止フィルムを貼付けます。

### スカートガードプラス 有償付加仕様 NEW

スカートガード全体にブラシを装着します。ステップの端部に立ちにくくすることで、ステップとスカートガード間への衣類の巻き込みや挟み込みを低減します。

※長期利用によりブラシが汚れている場合、衣服等が汚れる可能性があります。



### 水平3枚ステップ 有償付加仕様

乗降部の水平部をステップ3枚分確保することで乗降しやすくします。



### スムーズな乗降を実現する低すくい角「くし」 基本仕様

くし先端部のすくい角を10°に設定。より緩やかにすることで、乗り上げ時の抵抗を減少させ、スムーズな乗降をサポートします。また目立つカラーリングで、乗降する際の境目をわかりやすくしています。



### コムセーフティ 基本仕様 NEW

くしとステップの間に物が挟み込まれたとき、くしの持ち上がりを検出してエスカレーターを停止させます。

※写真の色は実際と異なる場合があります。



## 操作部に運転状態を表示 基本仕様

上部操作部に、安全装置動作時にはその動作情報と再起動可能かどうかを表示します。これにより、これまで保守会社が対応していたトラブルの一部を、管理者が表示内容を確認し、その場で応急的に処置・対応することができます。また、通常運転時は速度を表示します。



## 利用シーンに合わせて設定できる速度切替 有償付加仕様

ご利用状況やシーン、ご利用になる方々に合わせて20m/min、30m/minの2段階に速度を選択することができます。



## オートアナウンス 有償付加仕様

利用者への案内、注意メッセージを音声で放送します。

## 遠隔監視 (保守メニュー) 保守メニュー

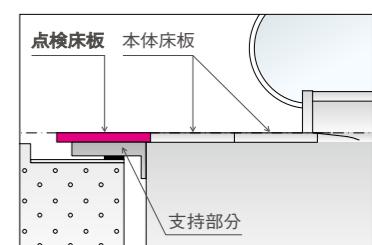
24時間・365日、運転状態を監視。万が一の故障発生時に自動通報します。また、通報データを分析しエンジニアの故障復旧に役立てます。

※遠隔監視サービスのご利用には三菱電機ビルテクノサービス(株)とのご契約が必要です。

## 点検床板 基本仕様

エスカレーター支持部分の床板を開閉可能にすることにより、地震発生時など設置後にも支持部分の設置状態を容易に確認することができます。

※確認作業は保守作業員が実施します。



※1センサーに太陽光が直接または反射して当たる環境や周囲に反射率の高い壁や柱などがある環境では誤検出する場合があります。当社にご相談ください。  
※写真の色は実際と異なる場合があります。

# Design

## 使う人から発想する機能美。

人にとって本当の使いやすさを追求するユニバーサルデザイン。スマートなデザインの中に、使う人への配慮が込められています。



### 環境に配慮した光沢のあるウレタン手すり 基本仕様

リサイクル可能で環境にやさしく、素材自体に光沢のあるウレタン製手すりを標準装備しています。

※屋内・準屋外仕様の場合のみ適用可能です。

### 美しい光を演出するスカートガード照明 有償付加仕様 LED

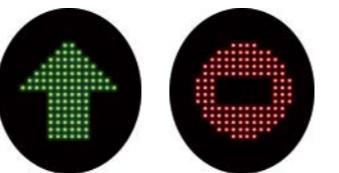
スカートガード部に照明を設置することでデザイン性をアップ。利用者の足下を明るく照らしだし、利用する時間を美しく演出します。

※屋内・準屋外仕様の場合のみ適用可能です。



### 運転方向表示 有償付加仕様 LED

矢印や進入禁止のサインをLEDパターンで表示することで、運転方向をはっきりとわかりやすくガイドします。



### フロアナンバー 有償付加仕様

見やすく、滑りにくいフロアナンバー。



## 仕様一覧表

●: 基本仕様 ○: 有償付加仕様 □: 保守メニュー

部位	項目	基本仕様	内容
ステップ	デマーケーションクリート持ち上げ	P.7 ●	両端のデマーケーションクリートを持ち上げ、ステップの端部に立ちにくくすることで、ステップとスカートガード間への衣類の巻き込みや挟み込みを低減します。
	高視認性デマーケーション	P.7 ●	ステップ部のデマーケーションカラーの明度をアップさせることで、乗降口やステップの視認性を向上。利用者をわかりやすく誘導します。
	端部滑り止め溝	P.7 ●	ステップの先端部に滑り止めの溝を入れ、乗降時の踏み外しを低減します。
	スカートガードプラス	P.8 ○	スカートガード全体にプランを装着し、ステップの端部に立ちにくくすることで、ステップとスカートガード間への衣類の巻き込みや挟み込みを低減します。
	水平3枚ステップ	P.8 ○	乗降部の水平部をステップ3枚分確保することで乗降しやすくなります。
くし部分	低すくい角(10°)くし	P.8 ●	くし先端部のすくい角を緩やかにし、スムーズな乗降をサポートします。また、目立つカラーリングで、乗降する際の境目をわかりやすくしています。
欄干ガラス(ガラスタイルのみ)	飛散防止フィルム貼付 <sup>※1</sup>	P.8 ●	欄干の強化ガラスに飛散防止フィルムを貼付けます。
床板	点検床板	P.10 ●	エスカレーター支持部分の床板を開閉可能とすることにより、地震発生時など設置後にも支持部分の設置状態を容易に確認することができます。
	フロアナンバー	P.11 ○	床板の一部を見やすく滑りにくいフロアナンバーとします。
照明	スカートガード照明(LED)	P.11 ○	スカートガード部にLED照明を設置し、デザイン性と安全性を向上します。(欄干照明あり(SAL方式)で適用することはできません。屋内・準屋外の場合のみ適用可能です。)
	ステップ下照明(LED)		乗降部のステップ下部のLED照明を設置し、ステップ間の境界を明るく明確にすることで、乗降しやすくなります。
	コムライト・円形灯(LED)	P.7 ○	乗降部に照明を取り付け、乗降しやすくなります。(円形灯はパネルタイプのみに適用可能です。)
乗降口	運転状態表示	P.9 ●	通常運転中は速度を表示し、安全装置動作時にはその動作情報と再起動可能かどうかを表示します。
アウターデッキ部	気配りアナウンス <sup>※2</sup>	P.9 ○	手すりからの乗り出しを検出し、メッセージを自動アナウンスすることで注意を喚起します。(屋内・準屋外仕様、ガラスタイルのみに適用可能です。)
	運転方向表示(LED)	P.11 ○	矢印や進入禁止のサインを表示することで、運転方向をわかりやすくします。
インレット部	気配りアナウンス <sup>※2</sup>	P.9 ○	手すり入り込み口への接近を検出するセンサーにより、注意メッセージをアナウンス、周囲に危険を知らせます。(屋内・準屋外仕様の場合のみ適用可能です。)
その他	インバーター制御	P.5 ●	最適励磁制御を採用したインバーターを標準装備し、省エネ性を向上します。
	省エネ運転モード	P.5 ●	センサーで利用者の混雑度を検出し、利用者が多い時は30m/min、少ない時は25m/minで運転、さらに無人時には20m/minまで速度を落とします。快適性を損なわずに省エネ効果を発揮します。
	回生コンバーター	P.5 ●	運転時に発生した回生電力を建物内の電気設備に有効利用します。
	スローストップ機能	P.8 ●	安全装置が作動して緊急停止する場合も、利用者の安全を配慮して緩やかに停止。緊急停止によるつまずきや転倒を低減します。(停電時等には急停止する場合があります。)
	オートアナウンス	P.9 ○	利用者への案内、注意メッセージを音声で放送します。
	速度切替	P.9 ○	利用状況に合わせて速度を切り替えることができます。
	低速待機自動運転 <sup>※2</sup>	P.6 ○	利用者がいない場合は10m/minで運転し、消費電力を削減します。利用者を感知すると、緩やかに加速します。※利用者検出センサーはポスト式、ポストレス式からお選びいただけます。
	停止待機自動運転 <sup>※2</sup>	P.6 ○	利用者がいない場合にエスカレーターを停止します。利用者を感知すると緩やかに加速します。※運転方向表示が必要となります。※利用者検出センサーはポスト式を推奨します。
	遠隔監視	P.10 □	運転状態を監視し、万が一の故障発生時に自動通報します。また、通報データを分析しエンジニアの故障復旧に役立てます。(ご採用には三菱電機ビルテクノサービス(株)とのご契約が必要です。)

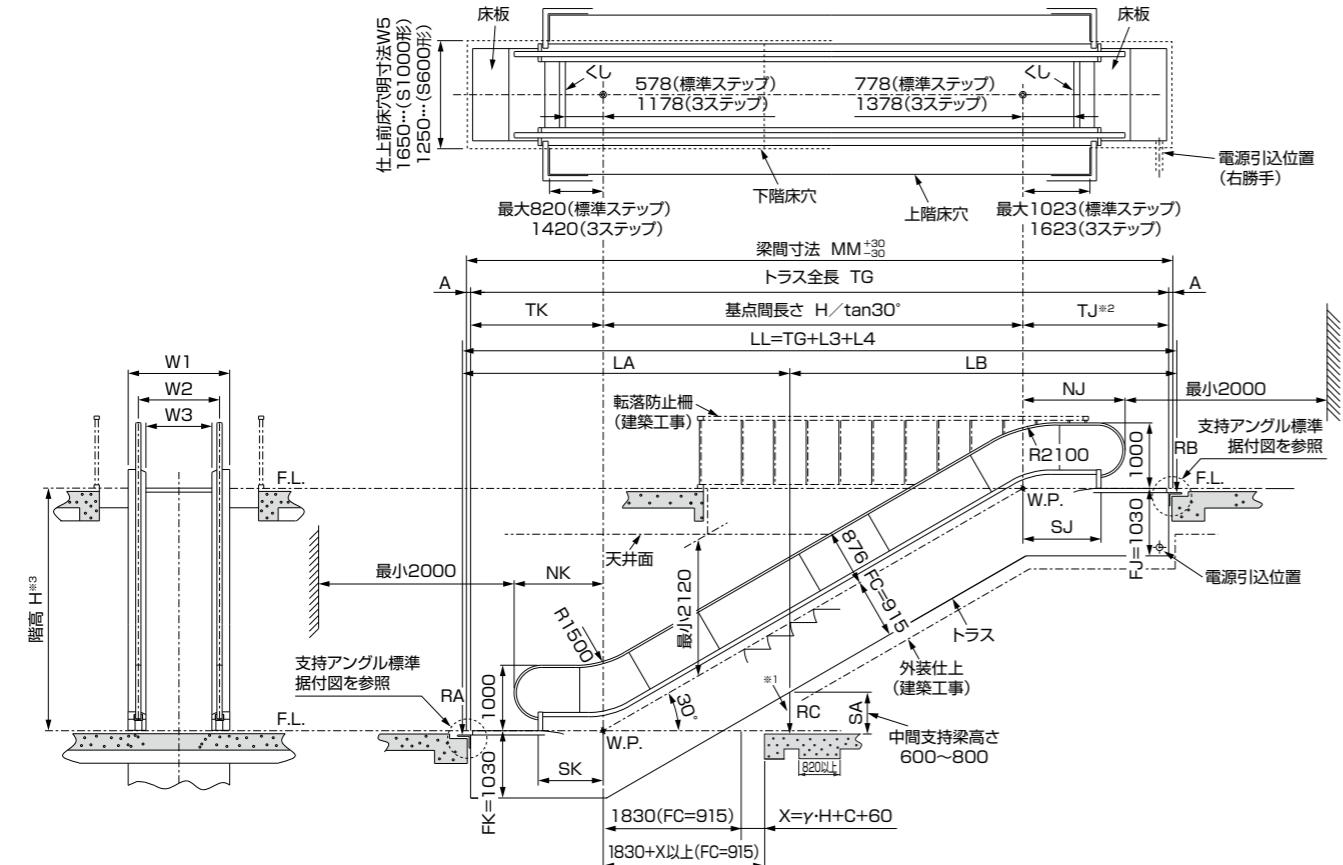
※1 (一社)日本エレベーター協会標準JEAS-525(標準09-10)によります。飛散防止フィルムは温度、湿度によって経年劣化するため張替えが必要です。耐用年数は使用箇所によって異なりますが概ね10年を目指してご検討ください。

※2 センサーに太陽光が直接または反射して当たる環境や周囲に反射率の高い壁や柱などがある環境では誤検出する場合があります。当社にご相談ください。

## 標準据付図

## ■ 別途工事

- 1.外装仕上工事（許容重量196N/m<sup>2</sup>）
  - 2.エスカレーター支持梁の施工
  - 3.機械室、制御盤までの電線引込工事
  - 4.アース線工事及びその配線、配管工事
  - 5.エスカレーター据付後の周囲の仕上工事
  - 6.遠隔監視用電話線



※1:  $l_1 \geq 15100$  (S1000形),  $l_1 \geq 15750$  (S600形) の場合は中間支持梁が必要です

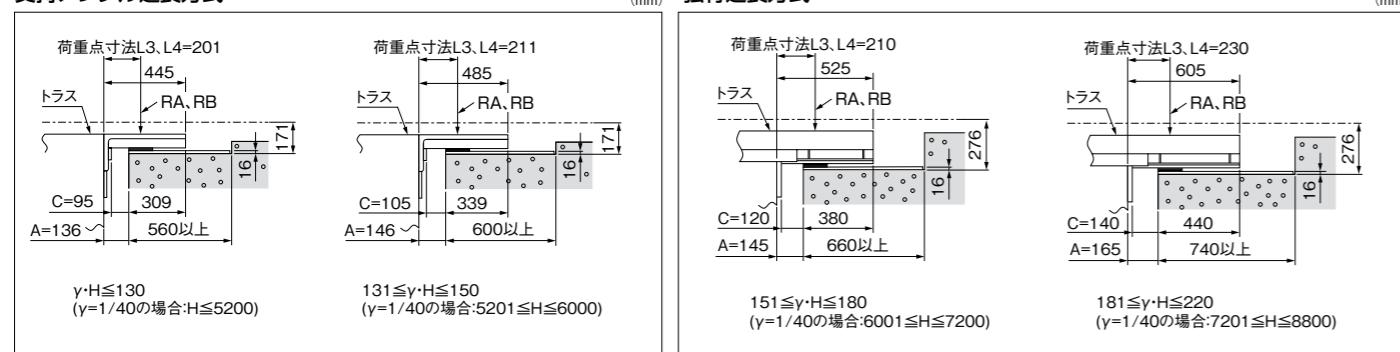
※1: LL>15100(31000形)、LL>15750(36000形)の場合は中間支持架が必要です。

※3: 本図は階高Hが9000mm以下の場合は、9000mmを超える場合は当社までお問い合わせください。

※4: L3, L4, A, Cの寸法値は下図「支持アングル標準据付図」をご参照ください

### ■ 支持アングル標準据付図

### 支持アングル延長方式



※1：これはエスカレーター設計用屋根変形角。Hは階高を示す。本

※2:  $\gamma$ ・Hが220mmを超える場合は、当社へお問合せください。

## ■ 基本仕様

形式	S1000形		S600形				
設置環境	屋内	屋外、準屋外、重負荷	屋内	屋外、準屋外、重負荷			
踏段公称幅	1000		600				
ステップ幅	1004mm		604mm				
公称輸送能力	9000人/時 <sup>※1</sup>		4500人/時 <sup>※2</sup>				
速度	30m/min <sup>※3</sup>						
傾斜角度	30度						
電源	動力用	三相交流 200V,50Hz / 200~220V,60Hz	400~415V,50Hz / 400~440V,60Hz				
	照明用	単相交流 100V,50Hz / 100V,60Hz					
電動機	交流三相誘導電動機(連続定格)						
運転方式	キースイッチ操作運転方向可逆式						
電動機容量	5.5kW	2200≤H≤4500	2200≤H≤4000	2200≤H≤7000	2200≤H≤6500		
	7.5kW	4500<H≤6500	4000<H≤5500	7000<H≤9000	6500<H≤9000		
	11kW	6500<H≤9000	5500<H≤9000	—	—		

※1: 連続運転して利用する場合の利用者数は、10分間平均で約750人となります。過度の利用者集中（10分間で1000人以上）が見込まれる場合は、重負荷仕様を選定ください。また、ピーク時に10分間で1200人以上の輸送需要が見込まれる場合は別途お問合せください。

※2:連続運転して利用する場合の利用者数は、10分間平均で約375人となります。過度の利用者集中(10分間で500人以上)が見込まれる場合は、重負荷仕様を選定ください。また、ピーク時に10分間で600人以上の輸送需要が見込まれる場合は別途お問合せください。

(重負荷仕様とは利用者が一時に集中する場合に対応した仕様です)。

※3: 省エネ運転モード時は、センサーで利用者の混雜度を検出し、利用者が多い時は30m/min、少ない時は25m/minで運転、さらに無人時には20m/minまで速度を落とします。

## 寸法表

形式	S1000形		S600形	
設置環境	屋内、準屋外	屋外	屋内、準屋外	屋外
LA/LB最大値	11000	10000	11700	10000
W1(エスカレーター幅)	1550		1150	
W2(手すり中心間)	1240		840	
W3(スカートガード幅)	1008		608	
W4(トラス幅)	1500		1100	
W5(仕上前床穴あけ寸法)	1650		1250	

※1: S1000形でH≤7000の場合、2225

※2: S1000形でH≤7000の場合、2825

## ■ 荷重算出式

支持部にかかる荷重		(N)
	中間支持梁無しの場合	中間支持梁有りの場合
RA	$\alpha \cdot LL + \frac{\beta 1 \cdot (LL - L1) + \beta 2 \cdot L2}{LL}$	$\alpha \cdot LA + \beta 1 - \frac{\beta 1 \cdot L1}{LA}$
RB	$\alpha \cdot LL + \frac{\beta 1 \cdot L1 + \beta 2 \cdot (LL - L2)}{LL}$	$\alpha \cdot LB + \beta 2 - \frac{\beta 2 \cdot L2}{LB}$
RC	_____	$\alpha \cdot LL + \frac{\beta 1 \cdot L1}{L1} + \frac{\beta 2 \cdot L2}{L2}$

※1: 11-TGJ3J4

※2:  $L1+L2+L3+L4$ は、下表を参照ください。

反力係数 $\alpha$			層間変位	荷重点寸法 L3、L4
設置環境	ステップ幅	$\alpha$ (N/mm)		
屋内、準屋外、屋外	S1000形	3.95	$\gamma \cdot H \leq 130$	201
	S600形	3.20	$131 \leq \gamma \cdot H \leq 150$	211
			$151 \leq \gamma \cdot H \leq 180$	210

水平部ステップ数	荷重 $\beta 1$ 、 $\beta 2$		L1、L2寸法	
	$\beta 1$	$\beta 2$	L1	L2
標準	3900	13400	TK-924+L3	TJ-1113+L4
水平3枚ステップ(有償付加仕様)	5100	14400	TK-1524+L3	TJ-1713+L4

## Sシリーズ35°タイプ標準据付図

### ■ 別途工事

- 外装仕上工事 (許容重量196N/m<sup>2</sup>)
- エスカレーター支持梁の施工
- 機械室、制御盤までの電線引込工事
- アース線工事及びその配線、配管工事
- エスカレーター据付後の周囲の仕上工事
- 遠隔監視用電話線

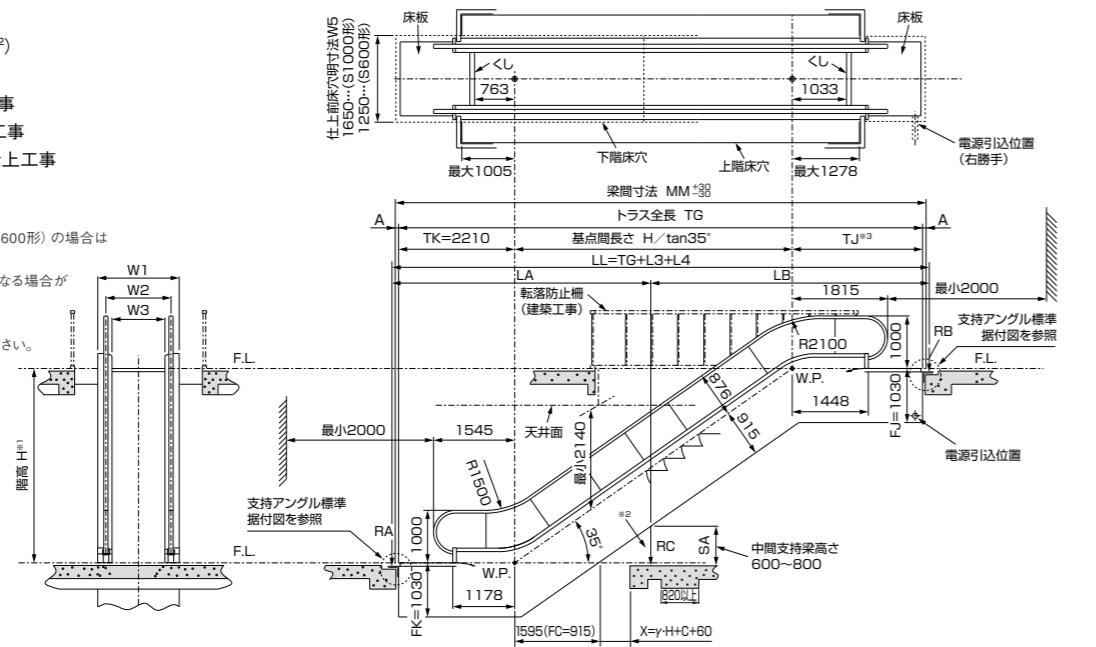
※1: 階高はH≤6000となります。

※2: LL>15100 (S1000形)、LL>15750 (S600形) の場合は

中間支持梁が必要です。

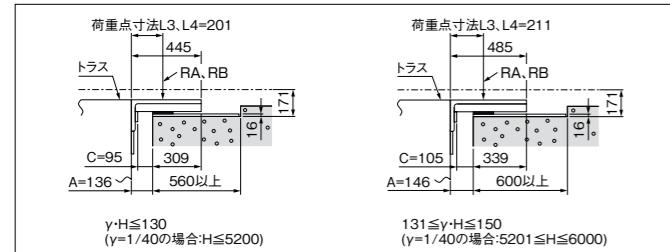
※3: 仕様によってはTJ寸法の延長が必要になる場合がありますのでお問合せください。

※4: L3、L4、A、Cの寸法値は下図  
「支持アングル標準据付図」をご参照ください。



### ■ 支持アングル標準据付図

#### 支持アングル延長方式



※1: yはエスカレーター設計用層間変形角、Hは階高を示します。

※2: y・Hが220mmを超える場合は、当社へお問合せください。

#### ■ 基本仕様

形式	S1000形		S600形	
	屋内	屋外、準屋外、重負荷	屋内	屋外、準屋外、重負荷
設置環境				
踏段公称幅	1000	600		
ステップ幅	1004mm	604mm		
公称輸送能力	9000人/時 <sup>※1</sup>	4500人/時 <sup>※2</sup>		
速度	30m/min <sup>※3</sup>			
角度	35度			
電源	動力用 照明用	三相交流 200V, 50Hz / 200~220V, 60Hz / 400~415V, 50Hz / 400~440V, 60Hz 単相交流 100V, 50Hz / 100V, 60Hz		
電動機		交流三相誘導電動機 (連続定格)		
運転方式		キースイッチ操作運転方向可逆式		
電動機容量	5.5kW 7.5kW 11 kW	2520≤H≤4500 4500<H≤6000 5500<H≤6000	2520≤H≤4000 4000<H≤5500 5500<H≤6000	2520≤H≤6000 — —

※1: 連続運転して利用する場合の利用者数は、10分間平均で約750人となります。過度の利用者集中 (10分間で1000人以上) が見込まれる場合は、重負荷仕様を選定ください。また、ピーク時に10分間で1200人以上の輸送需要が見込まれる場合は別途お問合せください。

※2: 連続運転して利用する場合の利用者数は、10分間平均で約375人となります。過度の利用者集中 (10分間で500人以上) が見込まれる場合は、重負荷仕様を選定ください。また、ピーク時に10分間で600人以上の輸送需要が見込まれる場合は別途お問合せください。

(重負荷仕様とは利用者が一時に集中する場合に対応した仕様です)。

※3: 省エネ運転モード時は、センサーで利用者の混雑度を検出し、利用者が多い時は30m/min、少ない時は25m/minで運転、さらに無人時には20m/minで速度を落とします。

#### ■ 寸法表

形式	S1000形		S600形	
	屋内、準屋外	屋外	屋内、準屋外	屋外
設置環境				
LA/LB最大値	11000	10000	11700	10000
W1 (エスカレーター幅)	1550	1150	840	
W2 (手すり中心間)	1240	840	608	
W3 (スカートガード幅)	1008	608	1100	
W4 (トラス幅)	1500	1100	1250	
W5 (仕上床穴あけ寸法)	1650	1250	2680	
TJ	2480			

#### ■ 荷重算出式

支持部にかかる荷重				
中間支持梁無しの場合		中間支持梁有りの場合		
RA	$\alpha \cdot LL + \frac{\beta_1 \cdot (LL - L_1) + \beta_2 \cdot L_2}{LL}$	$\alpha \cdot LA + \beta_1 - \frac{\beta_1 \cdot L_1}{LA}$		
RB	$\alpha \cdot LL + \frac{\beta_1 \cdot L_1 + \beta_2 \cdot (LL - L_2)}{LL}$	$\alpha \cdot LB + \beta_2 - \frac{\beta_2 \cdot L_2}{LB}$		
RC	—	$\alpha \cdot LL + \frac{\beta_1 \cdot L_1}{LA} + \frac{\beta_2 \cdot L_2}{LB}$		

※1: LL=TG+L3+L4

※2:  $\alpha$ 、 $\beta_1$ 、 $\beta_2$ 、 $L_1$ 、 $L_2$ 、 $L_3$ 、 $L_4$ は各表を参照ください。

荷重B1、B2		L1、L2寸法		層間変位		荷重点寸法 L3、L4	
$\beta_1$	$\beta_2$	L1	L2	$\gamma \cdot H \leq 130$	201	$131 \leq \gamma \cdot H \leq 150$	211

4500 13900

TK-1109+L3 TJ-1368+L4

151 ≤  $\gamma \cdot H \leq 180$  210

181 ≤  $\gamma \cdot H \leq 220$  230

## 仕様一覧

多彩なカラーリングや仕上げ素材をご用意。

建築物や利用シーンに合わせてコーディネートできます。

### ■ 材料及び仕上げ

欄干	内側板	ガラスタイル	平面透明強化ガラスパネル <sup>※1</sup> (SAS形)
		パネルタイプ	平面透明強化ガラスパネル <sup>※1</sup> ・照明付 (SAL形)
	デッキボード	スチールヘアライン仕上	スチールヘアライン仕上
ステップ	スカートガード	低摩擦塗装仕上 (黒)	ウレタン・標準色10色
床板	手すり	アルミ合金ダイカスト (溝着色 黒)	アルミ合金ダイカスト (黒)
	踏板	クリートライザー	クリートライザー
	デマケーションライン	プラスチック成形品 (黄)	プラスチック成形品 (黄)
	ランディングプレート	ステンレスエンボス仕上 (溝着色 黒)	ステンレスエンボス仕上 (溝着色 黒)

※1: 強化ガラスを使用しています。強化ガラスはガラス内に残存する不純物により不意に破損するおそれがあります。またガラスには飛散防止フィルムを貼付けます。((一社)日本エレベーター協会標準JEAS-525 (標準09-10)による。)

### ■ 各部の名称

#### ガラスタイル: 欄干照明あり (SAL形) LED

※屋内、準屋外の場合に限ります。

#### 手すり

#### デマケーションライン

#### 内側板 (ガラスパネル)

#### インナーデッキ

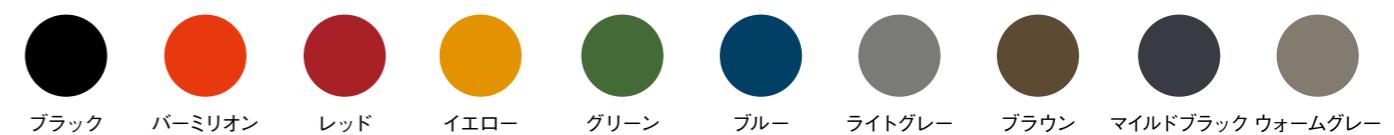
#### スカートガード

#### くし

#### ランディングプレート

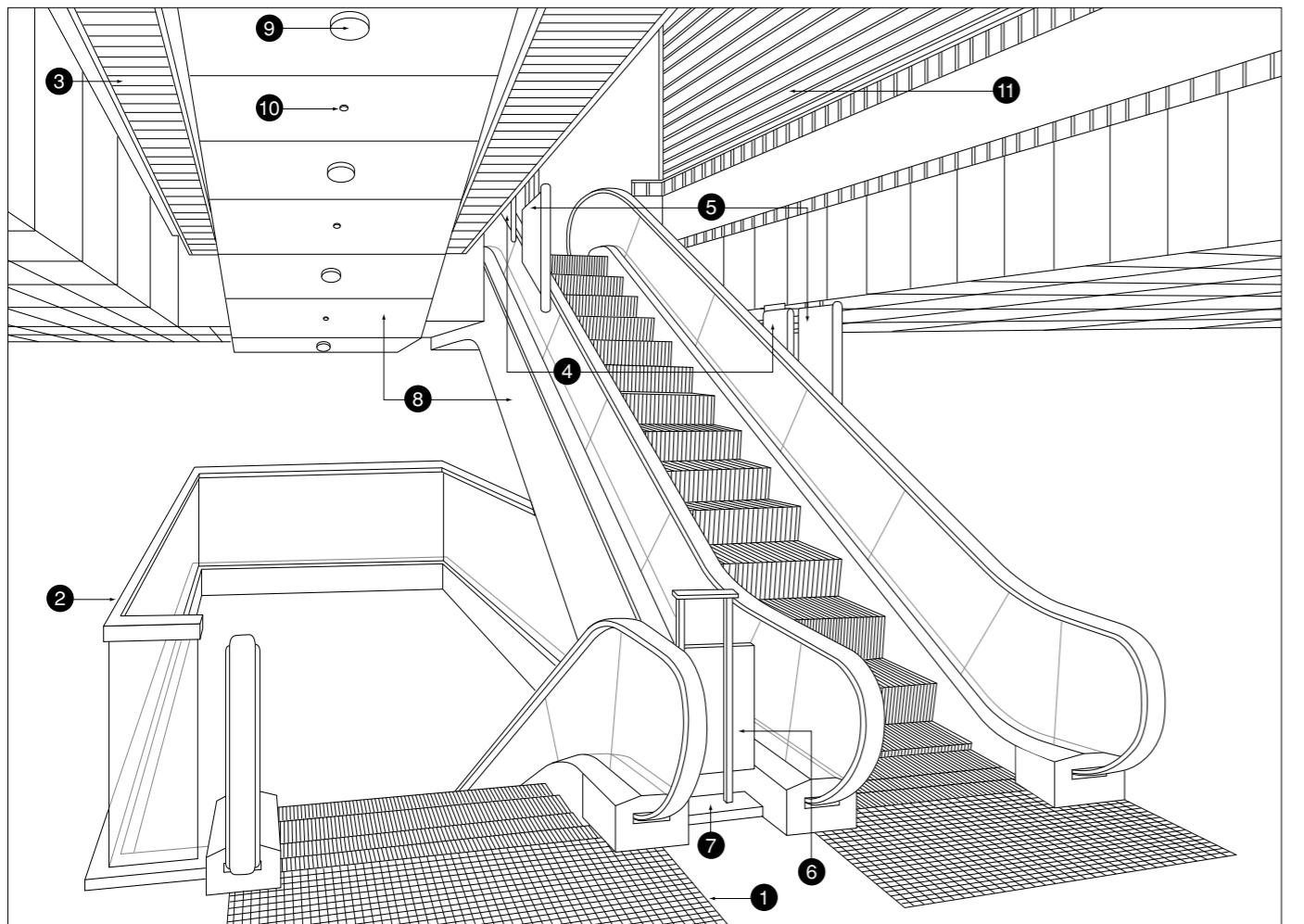


### ■ 手すり標準色



※写真の色および手すり標準色は実際と異なる場合があります。

## 工事区分



下記の項目はエスカレーターの工事には含まれておりません。

### ■建築関連工事

1. 支持梁の施工(中間支持梁も含む)
2. 据付用穴あけ工事
3. エスカレーター搬入吊込み用穴あけ工事および梁スリーブ穴あけ工事および搬入後の復旧工事
4. ピット構造工事
5. 防水工事
6. 耐火被覆工事
7. エスカレーター据付後の周囲の穴埋めおよび床仕上工事(穴埋めのための下地処理を含む)(図示①)
8. エスカレーターが他の防火区画に干渉する場合の耐火仕切工事
9. エスカレーターまわりの安全対策
  - 転落防止柵(図示②)
  - 落下物防止網(図示③)
  - 固定保護版(図示④)
  - 可動警告板(図示⑤)

屋外にエスカレーターを設置する場合の注意事項について

エスカレーターを屋外に設置する場合は、原則として屋根を設けてください。なお、屋根を設けない場合の機器交換費用は屋内仕様に比べ3倍～5倍ほどになります。また、雨天時に利用者が転倒し怪我をするおそれがあるため、天候により利用を制約されるなど、ご不便な場合があります。

## エスカレーターご計画の際のお願い

エスカレーター設置のご計画の際は、建築基準法施行令第八十二条の二によって算出した層間変形角(中規模地震時)をご提示願います。ご提示頂いた層間変形角の5倍がエスカレーター設計用層間変形角となります。

また、ご計画の建物が下記に該当している場合は、層間変形角を1/100まで緩和できますので、あわせてご提示願います。

①強度型とみなせる構造計画を実施している場合は1/100

- ・RC造で平成19年国土交通省告示第593号第2号イに該当する建築物
- ・純プレース構造のS造で建築物で同告示第593号第1号イ又はロに該当する建築物

②特別の調査または研究の結果に基づき大規模地震時の層間変形角を算出している場合は当該算出した値

- ・時刻歴応答解析によって確かめた層間変形角
- ・限界耐力計算によって確かめた層間変形角

## 「快適」で「安心」なビル環境を、 24時間みつめ続けるサービスネットワーク

三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、全国約280カ所のサービス拠点、6,000人のエンジニア、8カ所の情報センターによる総合力でお客様の信頼にお応えしています。

### 情報センターの役割

3つのサービスをお届けします。

### 遠隔管理サービス

ビル設備の監視・制御をオーナーに代って24時間行います。また、煩雑な事務処理も代行し、ビル管理の効率化と、テナントへのサービス向上を実現します。

### 緊急時サービス

ビル設備の異常、防犯・防災にも24時間対応します。緊急要請にフィールドエンジニアやガードマンが迅速に対応。お客様の快適と安全を守るビルのドクターです。

### コンサルティング

ビルに関する豊富なデータをもとに、あらゆるご相談に24時間お応えしています。また、ビルの資産価値を高める設備のリニューアル提案やビル診断も承っています。



### 北海道情報センター

北海道の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 東北情報センター

東北地方の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 東京情報センター

東京本拠地を中心とした東京圏の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 横浜情報センター

横浜本拠地を中心とした関東圏の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 中部情報センター

名古屋本拠地を中心とした中部圏の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 関西情報センター

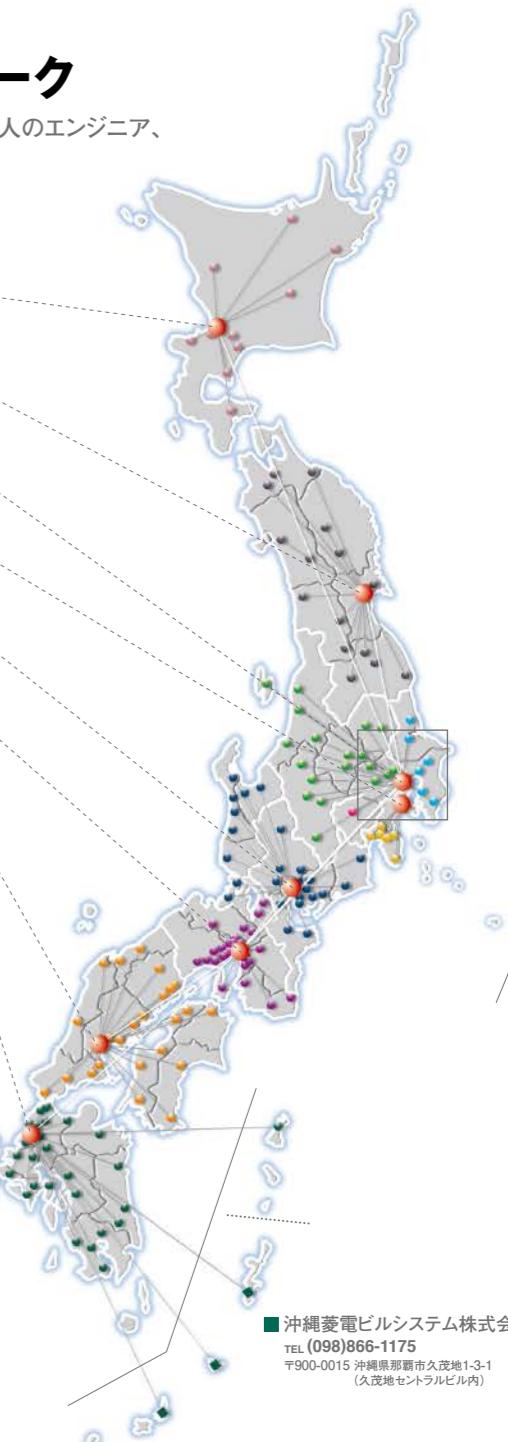
大阪本拠地を中心とした関西圏の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 中国情報センター

福岡本拠地を中心とした中国圏の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。

### 九州情報センター

沖縄本拠地を中心とした九州圏の各支社と連携して、24時間体制でサービスを提供しています。



## 三菱電機株式会社

〒100-6310 東京都千代田区丸の内二丁目7番3号（東京ビル）

### お問合せは下記へどうぞ

本社ビル事業部	〒100-6310 東京都千代田区丸の内2-7-3(東京ビル)	(03) 3218-4544-4545
北海道支社	〒060-8693 札幌市中央区北二条西4丁目1(北海道ビル)	(011) 212-3726
道東営業所	〒080-0010 帯広市大通南11丁目18-1(TRAD十勝ビル)	(0155) 28-7111
旭川営業所	〒070-0033 旭川市三条通9丁目左1号(旭川三条線橋ビル)	(0166) 26-0070
東北支社	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20(花京院スクエア)	(022) 216-4585
福島支店	〒963-8002 郡山市駅前1-15-6(明治安田生命郡山ビル3F)	(024) 923-5624
北東北営業所	〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-20(ニッセイ盛岡駅前ビル6F)	(019) 606-3275
秋田事務所	〒010-0924 秋田市旭北寺町1-2	(018) 896-4220
青森事務所	〒030-0822 青森市中央1-23-4(ダイヤビル3F)	(017) 735-7811
関越支社	〒330-6034 さいたま市中央区新都心11-2(明治安田生命さいたま新都心ビル ランド・アクシス・タワー34F)	(048) 600-5785
新潟支店	〒950-8504 新潟市中央区東大通2-4-10(日本生命新潟ビル)	(025) 241-7221
群馬営業所	〒370-0841 高崎市栄町4-11(原地所第二ビル)	(027) 322-0312
長野支店	〒380-0921 長野市栗田原田窪1000番地1(長栄長野東口ビル5F)	(026) 223-1209
東関東営業所	〒260-0015 千葉市中央区富士見2-3-1(塚本大千葉ビル)	(043) 201-2955
神奈川支社	〒220-8118 横浜市西区みなとみらい2-2-1(横浜ランドマークタワー18F)	(045) 224-2611
北陸支社	〒920-0031 金沢市広岡3-1-1(金沢パークビル)	(076) 233-5506
中部支社	〒450-6045 名古屋市中村区名駅1-1-4(JRセントラルタワーズ)	(052) 565-3160
静岡支店	〒422-8067 静岡市駿河区南町14-25(エスピティオ6F)	(054) 202-5632
岐阜支店	〒500-8856 岐阜市橋本町2-20(濃飛ビル5F)	(058) 252-0033
三重支店	〒514-0009 津市羽所町388(津三交ビルディング7F)	(059) 229-1567
関西支社	〒530-8206 大阪市北区大深町4-20(グランフロント大阪 タワーA)	(06) 6486-4165
京滋支店	〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路上ル東塩小路町608-9(日本生命京都三哲ビル)	(075) 361-7840
兵庫支店	〒650-0035 神戸市中央区浪花町59(神戸朝日ビルディング)	(078) 392-8561
中国支社	〒730-8657 広島市中区中町7-32(ニッセイ広島ビル)	(082) 248-5278
岡山支店	〒700-0901 岡山市北区本町6-36(第一セントラルビル)	(086) 225-5171
山口支店	〒754-0021 山口市小郡黄金町4-17(ゼスト小郡4F)	(083) 973-2481
山陰営業所	〒690-0038 松江市平成町182-35	(0852) 24-9335
四国支社	〒760-8654 高松市寿町1-1-8(日本生命高松駅前ビル)	(087) 825-0006
愛媛支店	〒790-0001 松山市一番町3-3-6(センターポイントビル)	(089) 931-7542
高知支店	〒780-0870 高知市本町4-2-40(ニッセイ高知ビル4F)	(088) 824-9477
徳島営業所	〒770-0841 徳島市八百屋町2-11(ニッセイ徳島ビル)	(088) 654-5011
九州支社	〒810-8686 福岡市中央区天神2-12-1(天神ビル)	(092) 721-2163
沖縄支店	〒900-0015 那覇市久茂地3-21-1(国場ビル)	(098) 861-2450
ショールーム(M's Station)	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1(システムプラザB館)	(03) 3802-9915



「エレベーター・エスカレーター」のウェブサイト

[www.MitsubishiElectric.co.jp/elevator](http://www.MitsubishiElectric.co.jp/elevator)

### 安全に関するご注意

- 法令を遵守してください。
- ご使用の前に取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



### 国際的な品質保証規格「ISO 9001」、環境管理規格「ISO 14001」を取得。

三菱電機のエレベーター・エスカレーターを開発・製造する福沢製作所は、1994年11月に国際標準化機構(ISO)の品質保証規格「ISO9001」そして、また1996年3月には昇降機の生産工場としては国内初の環境管理規格「ISO14001」を取得しました。これは開発、設計から製造、検査など一貫した三菱電機の品質保証システム、および環境活動が評価されたものです。

